

対面でのボランティア活動に係る留意事項

2022年4月

マグダレナ・ソフィアセンター

対面のボランティア活動に参加される場合には、新型コロナウイルスの感染を防ぎ、感染拡大を抑止するために、以下のことに十分気を付けるようお願いいたします。

なお、課外活動団体としての行動は『課外活動のガイドライン』（Sophie 掲示）を参考としてください。

【活動の前に】

1. 日々の体調管理と健康観察を行きましょう。

少なくとも活動日の前2週間（14日間）は以下を計測・記録し、ご自身の健康状態に異常がないか、継続して確認しましょう。

- ① 毎日体温計測をしましょう。
- ② 発熱等の風邪症状がないことを確認しましょう。
- ③ 咳、喉の痛み、倦怠感、息苦しさ、味覚・嗅覚異常がないか確認しましょう。

少しでも具合の悪い時はボランティア活動への参加は控えましょう。

2. 受け入れ先の感染症対策について確認しましょう。活動するみなさんにもどのような対策が求められているのか確認し、準備をしましょう。

3. 「ボランティア活動保険」に加入しましょう。

活動前にお住まいの各市町村にある社会福祉協議会で、「ボランティア活動保険」に必ず加入してください。ボランティア活動中に新型コロナウイルス感染症に罹患して治療を受けた場合、条件によって補償の対象となります。

【活動日には】

1. あらかじめ健康観察を行きましょう。

活動日当日に発熱・風邪の症状などがいないか確認し、少しでも具合の悪いときはボランティア活動への参加を見合わせてください。

2. 活動中および活動先への移動中はマスク（不織布マスクを推奨）を着用しましょう。

3. 咳エチケットを徹底しましょう。

4. こまめな手洗い・手指消毒を行きましょう。

5. 3密（密閉・密集・密接）を避け、ソーシャルディスタンス（最低 1m、できるだけ 2m を確保。活動内容によってはそれ以上）を保って行動しましょう。また、室内の換気に気をつけましょう。

6. 活動中に具合が悪くなった際は、すぐに担当者に知らせましょう。

7. 活動終了次第、速やかに帰宅しましょう。

【活動後（活動日より 2 週間）には】

活動前、活動中だけでなく、活動後約 2 週間は健康管理を続けてください。

万が一、新型コロナウイルスに感染した場合は学校保健安全法の感染症に罹患した場合として出席停止となります。濃厚接触者と指定された場合や、ワクチン接種後の副反応なども出席停止（公欠）の扱いとなりますので保健センターに連絡をしてください。

なお、新型コロナウイルス感染症対策に関する様々な情報については、以下の URL から、本学公式 WEB サイト「重要なお知らせ」に掲載の【「新型コロナウイルス感染症への対応について」】（参照：<https://www.u-sacred-heart.ac.jp/news/20220401/10881/>）をご確認ください。

以上